

静岡県の近現代史研究シリーズ 第8弾

静岡ゆかりの 近現代日本の先駆者

vol. I

第17回を迎えた駿府博物館短期歴史講座。2013年からは静岡県近代史研究会のご協力で、「静岡県の近現代史研究シリーズ」として明治・大正・昭和の政治・産業・教育・文化・思想などについて最新の地域史研究を交え、広く県民の皆様が学べる機会を提供しています。本年度は、「静岡ゆかりの近現代日本の先駆者」をテーマに3回にわたって講義を行います。

第1回

2020年9月19日(土) 13:30~15:30

静岡藩出仕時代の渋沢栄一 —静岡藩商法会所・常平倉をめぐる—

講師:岡村 龍男氏(静岡県近代史研究会幹事)

8月1日から9月22日まで駿府博物館で開催中の所蔵品展「遺墨でたどる近代ニッポン」で渋沢栄一の書「一行」を展示しています。

第2回

2020年10月10日(土) 13:30~15:30

河井弥八と近衛新体制運動

講師:森山 優氏(静岡県立大学国際関係学部国際関係学教授)

第3回

2020年10月31日(土) 13:30~15:30

郷土部隊と ともに歩んだ柳田芙美緒

講師:村瀬 隆彦氏(静岡県近代史研究会幹事、掛川東高等学校教諭)

質疑を楽しめる歴史講座

橋本 誠一氏(静岡大学人文社会科学部法学科教授、静岡県近代史研究会会長)

講座では「人物」を取り上げ、歴史全体をひも解いていきます。生き様を丹念に追いかけると、時代が分かります。講座の面白さは、講師とのやり取り。積極的に質問をして、発想を膨らめてください。

渋沢栄一というと、私生活でもお金に厳しいタイプという印象があります。渋沢について発表する岡村氏は、史実を積み上げて、理論構成をするタイプ。日本経済の父と言われる渋沢栄一像をどのように展開していくか、楽しみです。

河井弥八(静岡県掛川市出身、貴族院議員)は、天皇の側近として明治憲法体制を支えてきました。大政翼賛会結成につながる近衛新体制運動をどのように捉え、行動したのか。治安維持法強化・国防保安法制定に抵抗した河井の、知られざる歴史に迫ります。

柳田芙美緒は戦時中、静岡連隊出入りの写真師でした。兵士となった静岡県民の姿を写真で確認する場合、柳田の作品は欠かせないと言われています。村瀬氏は柳田の撮った写真を示しながら、柳田の人生を紹介していきます。

■ 会場 静岡 新聞放送会館4階会議室 (静岡市駿河区登呂3-1-1)

■ 受講料 一般3,000円 / 高校生・大学生・大学院生2,000円

※受講料は全3回分、税込、資料代含む。※学生は必ず学生証をご提示ください。ご提示がない場合は一般料金となります。
※受講料は初回(9/19)の受付の際、お支払いください。

■ 定員 先着40人

注意

- 会の中止または会場の変更となる場合があります。
- 体温37度以上の方は参加をお断りします。
- 参加資格は静岡県内在住者に限定します。
- 会当日前の2週間は海外渡航、3密の場所を控えてください。

主催/駿府博物館(公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団) 協力/静岡県近代史研究会

お申し込み方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号を①~③いずれかの方法でお伝えください。

① TEL:054-284-3216 (9:00~17:00)

② FAX:054-284-3279 ※裏面の〈申込書〉(FAX用)をご利用ください。

③ E-mail:sumpu@shizuokaonline.com

※受講者には、申し込み締め切り後に案内状・受講カードを送付いたします。

お申し込み締め切り

2020年

8月31日(月)まで



SUMPU MUSEUM
駿府博物館

公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団

静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送会館別館2階
TEL.054-284-3216

http://www.sbs-bunkafukushi.com/